

お知らせ



国土を **整え**、全力で **備える**
国土交通省
中国地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau

情報提供先： 島根県政記者会
出雲市政記者クラブ
米子市政記者クラブ

水質事故に万全の体制で備えます ～斐伊川水系水質汚濁防止連絡協議会（水質事故部会） 及び水質事故対策訓練の開催～

【水質事故訓練実施状況（三刀屋川）】 ※三刀屋川（坂山橋下流）では、平成28年にも水質事故対策訓練の実施しています。



＜国土交通省班によるオイルフェンス展張＞



＜安来市班によるオイルフェンス展張＞



＜救命索発射銃によるオイルフェンス展張＞

斐伊川水系水質汚濁防止連絡協議会は、国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所、鳥取・島根両県、流域市町や関係機関で組織し、斐伊川水系の水質保全の取り組みや水質事故の抑止・処理対策などの活動を行っています。

これから冬場を迎え暖房用燃料の取扱いや車両のスリップ事故なども増え、水質事故につながるものが心配されるところです。

協議会では、水質事故への対応を担当する「水質事故部会」を設けていますが、このたび同部会を県雲南合同庁舎で開催し、関係機関相互の連絡調整や広報などについて協議するとともに、会議後、雲南市三刀屋町を流れる三刀屋川を会場に、油の流出を想定したオイルフェンス等の展張訓練などを実施します。

◎開催日時・場所

令和6年10月30日（水） 13:30～16:00

■ 水質事故部会（13:30～14:20）

島根県雲南合同庁舎 501会議室
雲南市木次町里方531-1

■ 水質事故対策訓練（14:45～16:00）

雲南市三刀屋町地先 三刀屋川（坂山橋左岸下流河川敷）
（概要については、別添「実施要領」をご覧ください。）

出雲河川事務所Webサイト <http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/>

問い合わせ先



国土交通省

斐伊川水系水質汚濁防止連絡協議会 水質事故部会
（事務局：国土交通省 中国地方整備局 出雲河川事務所 管理第一課）

管理第一課長

みずなが いさお
水永 勲

電話：0853-21-1850【代表】

電話：0853-20-1765【直通：管理第一課】

会場案内図



「出典：電子地形図25000(国土地理院)を加工して作成」

※訓練の見学にこられる方は、坂山橋上流 右岸側の河川敷へ駐車ください。

令和6年度 水質事故対策訓練

実 施 要 領

1. 目的 河川等の公共用水域で水質事故が発生した場合、その被害を最小限に食い止めるためには関係機関が密接な連携のもと迅速かつ的確な対策を行わなければならない。

そのためには、日頃から関係機関相互の緊密な情報伝達体制を構築しておくとともに、水質事故処理に関する知識や実践的現場対応能力を身につけておく必要がある。

国土交通省、県、市町及び関係機関で構成する「斐伊川水系水質汚濁防止連絡協議会水質事故部会」は、今後の水質事故対応に万全を期すため水質事故対策技術の習得・錬磨を図ることを目的に水質事故対策訓練を実施するものである。

2. 主 催 斐伊川水系水質汚濁防止連絡協議会 水質事故部会

3. 日 時 令和6年10月30日（水） 14:45～16:00

4. 場 所 雲南市三刀屋町地先 三刀屋川（坂山橋左岸下流河川敷）

5. 参 加 機 関 国土交通省 出雲河川事務所
鳥 取 県 西部総合事務所 米子県土整備局、環境建築局
島 根 県 河川課
松江、雲南、出雲、県央各県土整備事務所、及び広瀬土木事務所、仁多土木事業所
市 町 米子市、松江市、出雲市、安来市、雲南市
消 防 雲南消防本部
そ の 他 雲南保健所、出雲保健所雲南警察署
島根県企業局 東部事務所、西日本高速道路株式会社

6. 訓 練 内 容 ① ロープワーク（参加者全員対象）

- ・雲南消防本部の実技講習

事故現場で使用する主なロープワークとその特徴、用途の習得。

- ② 三刀屋川への油流出を想定したオイルフェンス等の実地展張訓練

- ・班編制

第1班（島根県 雲南県土整備事務所）

第2班（雲南消防本部）

第3班（国土交通省 出雲河川事務所）

第4班（雲南市）

・ 渡河方法及び使用資材

第1班 〈投げ竿〉＋〈モップ型吸着フェンス〉

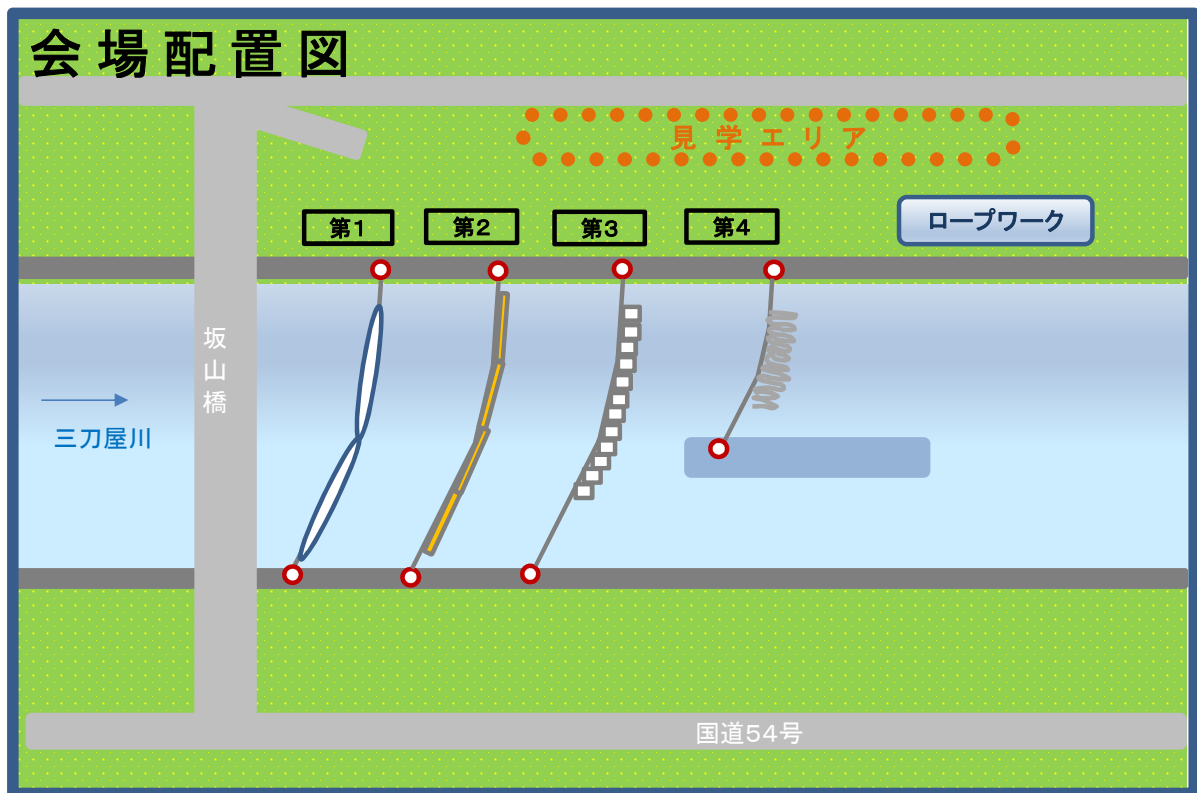
第2班 〈ビックショット〉＋〈オイルフェンス〉

第3班 〈ドローン(投げ竿)〉＋〈万国旗型吸着マット〉

第4班 〈胴長靴・救命胴衣〉＋〈ロープ状油吸着材〉

7. 訓練日程	14:45	開会
		・ 開会のあいさつ 雲南県土整備事務所 維持管理部長
		・ 訓練概要の説明
	14:50～15:00	ロープワーク
	15:10～15:55	実地展張訓練
	16:00	閉会

8. 会場の配置 別紙「会場配置図」のとおり



訓練概要

訓練は、三刀屋川を流下する油膜の回収を目的とし、上流の班から下流の班に向け対策を実施する。

班名	実施機関	訓練内容	要領	使用資機材
第1班	島根県	モップ型吸着フェンス	①投げ竿を利用し、リードロープを対岸に渡す ②リードロープを利用し、「モップ型吸着フェンス」を尾張する ③両端を木杭に固定し、設置完了	・モップ型吸着フェンス ・投げ竿 1式 ・リードロープ、結束ロープ、木杭、かけや、土のう、鎌 各1式
第2班	雲南消防	オイルフェンス	①ビッグショットを使用し、リードロープを対岸に渡す。 ②リードロープを利用し、「オイルフェンス」を尾張する ③両端を木杭に固定し、設置完了	・オイルフェンス (20m×1) ・ビッグショット一式 ・リードロープ、結索ロープ、木杭、かけや
第3班	国交省	万国旗型吸着マット	①ドローンを利用し、リードロープを対岸に渡す ※強風時は投げ竿に変更 ②リードロープを利用し、「フェンス型吸着マット」を尾張する ③両端を木杭に固定し、設置完了	・ドローン ・万国旗型吸着マット ・投げ竿 1式 ・リードロープ、結束ロープ、木杭、かけや、土のう、鎌 各1式
第4班	雲南市	ロープ状油吸着材	①胴長靴、救命胴衣を着用し、リードロープ (2本) をもって中州まで渡河する。 ②リードロープを利用し、「ロープ状油吸着材」を展張する。 ③両端を木杭に固定し、設置完了。	・ロープ状油吸着材 (アプラスオイルキャッチャーロープ・・・20m×2本) ・救命胴衣、胴長靴、リードロープ、結束ロープ、木杭、かけや、土のう、スコップ 各1式